

アメリカンフットボールの北海道学生選手権は1日、札幌市円山陸上競技場で第2節の2試合を行い、甲子園ボウルにつながる1部リーグは札幌学院大が札幌大を90-8で下し白星発進した。

昨年3位の札幌学院大は、昨年のリーディングラッシャーのRBアンダーソン・真・グレン（3年、北広島西高）が89ヤードと80ヤードのTDランを含む339ヤード、4TDの快走で大勝の原動力となった、1部は、試合のなかった北海学園大、北海道大と札幌学院大が1勝で並んだ。札幌大はけがによる退場で一時は8人でプレーする場面もあったが、第2QにQB佐藤駿（4年、岩手・水沢高）がTDランを決め、昨年4位の意地を見せた。

札幌学院大の佐藤敏弘ヘッドコーチは「去年冬から体づくりに努め、選手の体が大きくなった。当たりとスピードが増した。アンダーソンにはもっともっと走ってもらわないと」と熱い期待を寄せた。アンダーソンも「スクリメージを抜けてからの走りを強化してきた。今日はもっとTDを取りたかった。もちろん2年連続のリーディングラッシャーも狙う」と意気込んでいた。

第3節は8日、1部が北海学園大清田グラウンドで北海道大-帯広畜産大（午前10時）、北海学園大-北星学園大（午後1時）、2部は北海道医療大グラウンドで東京農業大-北海道科学大（午前10時）、室蘭工業大-北海道医療大（午後1時）を行う。